

経営指導員が発見! キラ★星 企業

No.85

姫路商工会議所には様々な業種や規模の事業所が加入されています。

そのなかで、当所経営指導員が出会った「キラッ」と光る事業所の取り組みをご紹介します!



意匠・構造・設備部門を持つ総合設計事務所

ハラダエンジニアリング株式会社は、昭和52(1977)年の設立以降、大手総合商社やプラント会社を主な取引先とし、国内外における様々なプロジェクトに携わる。

同社は建築設計事務所として「意匠」・「構造」・「設備」全ての部門を持ち、設計スタッフはそれぞれの分野で経験と技術を蓄積、それらをトータルコーディネートする総合設計事務所へと成長を遂げてきた。

ZEBプロジェクト始動

3年前、クライアントから太陽光パネルの設置に関する相談があったことをきっかけに、新たなプロジェクトの模索が始まった。同社は、省エネ法の頻繁な改正にみられるように、国が環境配慮に力を入れていることに着目した。原田社長は「企業のCSRの一つとしてもカーボンニュートラル等エネルギー問題への取り組みが必要だ、また、若い世代に積極的にアイデアを出してほしい」という想いから、次世代を担うメンバーを集めた。メンバーは「会社のビジネスモデルになる事業」をテーマに、マインドマップ手法を取り入れた会議を重ねていった。机に広げた模造紙にアイデアや情報の流れを書き込み、会議内容の見える化を行った。この手法は原田社長が青年会議所時代に受講したセミナーをヒントにしている。その中で、太陽光発電のような単体の設備ではなく建物を包括的に設計する必要があると気付いた。そこでキーワードとなったのが「ZEB」だ。ZEBは空調・換気・照明等、建物内のあらゆる設備から環境問題へアプローチするため、意匠・構造・設備と建物を総合的に設計する同社の特長を存分に活かすことができる。メンバーは早速ZEBプロジェクトを立ち上げ、ZEB補助金のアドバイスやZEBの推進を行うZEBプランナーの登録を行った。

企業のZEB化を全面サポート

同社では企業がZEBに取り組む最初のステップとしてZEB化調査・診断を行う。設計図があれば1~2週間で診断が可能だ。今の状態を断熱材・照明・窓といったように設備ごとに○△×で評価し、どこをどう変えればZEB化ができるか一目で分かる表を独自に作成、社内でも共有している。また、ZEBプランナーを取得している

SDGS 時代に合わせた建築設計の新提案
ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)を総合的にサポート
ハラダエンジニアリング株式会社 代表取締役社長 原田博章

各メーカーと緊密な情報共有を行い、建物に最適な設備を一つのメーカーに縛られずにパッケージ化し、企画・提案を行う。

提案時にはBIM・デジタルデザインでイメージを膨らませる

また、プレゼンテーションの際には、BIM(=Building Information Modeling)を駆使して作業の効率化・情報の見える化に取り組む。BIMは建築物をコンピュータ上に3D空間で構築するものだが、建築物の色や構造はもちろん、その建築物から見える風景なども3D空間に投影ができる。建物の敷地環境を活かした建物づくりを考えることができ、クライアントからの評判も上々だ。

今後の展望

全国的に見ても兵庫県はZEB認知度が低く、ZEB実績はまだ少ない。同社ではZEBの取り組みを民間企業に限らず自治体とも協力して推進し、2025年には、同社で設計する物件の50%以上をZEBにすることを目標に掲げる。その達成に向け、ZEBプロジェクトメンバーは個々が各分野のプロフェッショナルとして業務の技術を磨き、企業としての総合力向上につなげるという共通認識のもと、太陽光発電以外の創エネの方法や、機械設備の最新技術、法律の動向等の幅広い分野に常にアンテナを張っている。同社の今後の活躍に期待したい。

ZEBとは(環境省HPを参考に当所編集)

快適な室内環境を実現しながら、省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。ZEBのメリットとして①光熱費の削減、②快適性・生産性の向上、③不動産価値の向上、④事業継続性の向上が挙げられる。

DATA

- 事業内容: 1. 建築企画設計監理
- 2. 耐震診断・補強設計
- 3. ZEB診断・ZEB設計
- 4. ZEB補助金申請

所在地: 〒670-0976 姫路市中地58番地5
電話: 079-296-2778

HP: <http://harada-eng.co.jp>

